

晴れの100歳を表彰

やまもと
山本ヌイさん(古閑)

めでたく100歳を迎えた山本ヌイさんに、10月5日、住永町長から町の敬老祝い金が贈られました。山本さんは、明治44年10月1日に益城町で生まれ、益城町で育ちました。息子さんの勇三さん、その妻、由利子さんと3人で暮らしていましたが、8年ほど前に体調を崩し、現在は嘉島町にある病院に入院しています。

100歳表彰のお祝いには、由利子さんが駆けつけました。和裁が得意で若いころは地域の人たちを自宅に招き、和裁の先生として慕われてた山本さん。戦時中、間近で米軍の攻撃を受けた恐ろしい体験や、戦後の食糧難の中での子育てなど貴重な経験をよく話してくれたそうです。



表彰を喜ぶ山本さん(左)とお祝いに駆けつけた由利子さん(右)



園児たちと一緒に体操をするくまモン

思わぬ“サプライズ”に歓声

町立第3保育所運動会に「くまモン」登場

10月1日、町立第3保育所(楠木野清美所長、74人、津森)の運動会に、くまもとサプライズの人気キャラクター「くまモン」が登場し、会場を盛り上げました。

くまモンは、開会式の中で、園児たちが体操を始めようとしたときに突然登場。会場の歓声に包まれ、持ち前の愛くるしさで「くまモン体操」を披露しました。また競技の中では、かけっこを旗を振って応援したり親子競技に参加したりと大活躍。

思わぬ“サプライズ”に保護者たちも、くまモンの前を走るわが子をカメラに収めようと、しきりにシャッターを切っていました。

10月15日、約400年の歴史を持つ砥川神社秋の例大祭が行われ、勇壮な獅子舞が奉納されました。

この獅子舞は、六嘉(嘉島町)の獅子の系統といわれ、五穀豊穡祈願として毎年開かれています。

祭りでは、まず関係者が拜殿で神事を行った後、オンジシとメンジシ一對の獅子を先頭に笛、太鼓、「釣り子

と呼ばれる男女の幼児らが拜殿を一周。境内の舞台へ進み、お囃子に合わせ、獅子舞と「釣り子」との掛け合いを披露しました。可愛らしい「釣り子」の舞いを楽しむ観客や迫力満点の獅子の舞いに怖がる子どもの姿もあり、また夜には、舞う獅子の上に花火を降らせる「もや」も行われ、幽玄な舞いに観客は盛んな拍手を送りました。



獅子の背中に乗った釣り子

勇壮な舞いで観衆を魅了

砥川地区で伝統の獅子舞を奉納